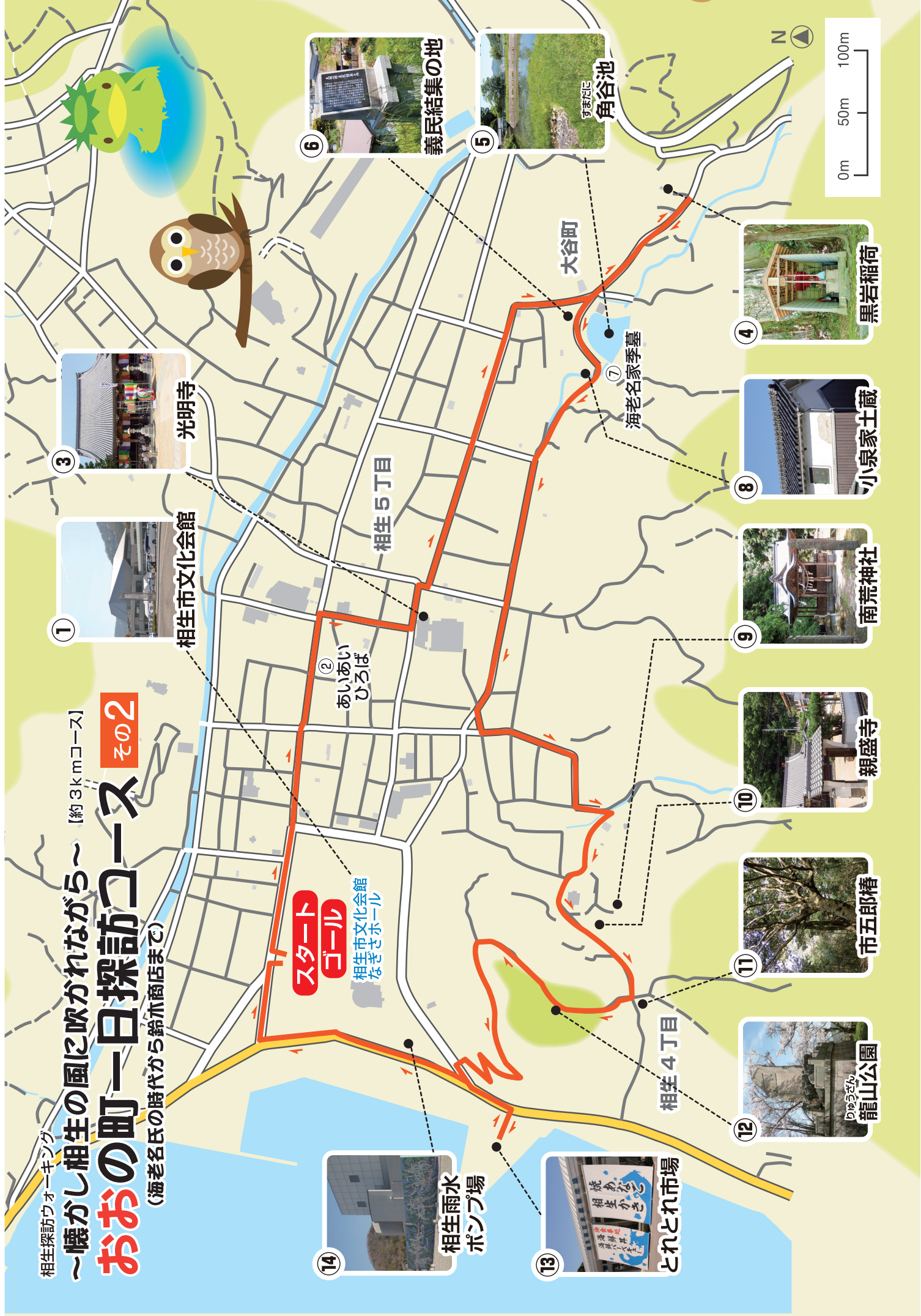


相生探訪ウォーキング

～懐かし相生の風に吹かれながら～ 【約3kmコース】

その2 おおの町一日探訪コース

(海老名氏の時代から鈴木商店まで)



①



相生市文化会館

③



光明寺

⑭



相生雨水ポンプ場

⑬



とれとれ市場

②

あいあい
ひろば

相生5丁目

相生4丁目

大谷町

⑥



義民結集の地

⑤



すまだに
角谷池

④



黒岩稲荷

⑧



小泉家土蔵

⑨



南荒神社

⑩



親盛寺

⑪



市五郎椿

⑫



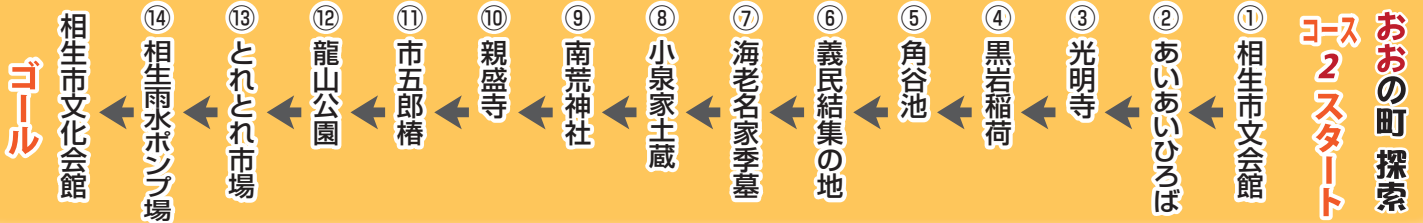
りゅうざん
龍山公園



御坊山からおおの町を見る

コースその2

おおの町の南側は自然がたくさんあります。山登り気分を味わいながら歩いてみませんか？名所にまつわる言い伝えなどもご紹介します。



③ 光明寺

海老名 14 代季重は出家して道誓と称し、蓮如上人に深く帰依して光明寺の寺号を賜り、1496（明応 5）年に寺を開基した。現在の本堂は 1880（明治 13）年建立。境内にある妙好人餅屋市五郎頌徳碑は安全上の理由で 2014（平成 26）年に台座なしの状態になった。鐘楼も同じ理由で改築された。梵鐘は、先の戦争で供出したが戦後戻されて改鋳された。鐘には戦死した兵士の名前が刻まれている。

④ 黒岩稲荷

赤い鳥居をくぐって奥へ進むと祠があり、その傍ら上方に大きな岩がそびえている。遠い昔から地元の人々が信仰の対象としていた磐座と思われる。

⑤ 角谷池

野瀬坂周辺の谷から流れ出た水を堰き止めて灌漑用に作られた池。畔には「天明一揆義民結集の地」の石碑がある。地元の人はこの池をスマダの池と訛って呼んでいる。

⑨ 南荒神社

創建時期不明。境内入口の大鳥居は 1921（大正 10）年、小鳥居は 1892（明治 25）年の建立。拝殿に上がる階段の脇に二宮金次郎の像がある。像は備前焼で、播州信用金庫相生支店入口付近にあったものを同支店閉鎖の後、ここに移された。境内の土俵場では 8 月に子ども相撲と子どもころがしが行われる。

⑩ 親盛寺

三代海老名盛重のとき、1190（建久 1）年 3 月、先祖累代の帰依仏観世音菩薩像の夢のお告げによって、金龍山に像を安置し親盛寺と称した。現在の堂宇は 1927 年の建立。境内の地藏尊は全国八万四千体の一つで、4512 番の子安地藏である。寺の裏山になる城山（じょやま）には四国八十八ヶ所を模した仏像が並んでいる。

⑪ 市五郎椿

妙好人餅屋市五郎ゆかりの椿。相生市の天然記念物に指定されているヤブツバキ。寒い中に仏様に供える花に色とりが無くになるので植えたと言われている。樹高約 6m、幹周 1.4 m の巨木で、樹令 300 年を超え、市域では最大級の椿。2 月頃から 4 月頃にかけて、赤い筒状の美しい五弁花を次々とつける。

今は雑木林となったが、当時はだんだん畑に 2 本ずっと立っていた。今は 1 本だけとなり、幻の椿となってしまった。

⑫ 龍山公園

浅野長直が船番所をここに置き、相生浦・那波浦・佐方浦に出入りする船を監視させたといわれている。地元では「じょやま」と呼んでおり、1955（昭和 30）年 4 月より龍山公園とも称されている。忠魂碑は 1914（大正 3）年に建立され、日清・日露戦争と大東亜戦争の戦死者名が刻まれている。



おはなしあれこれ

スマダの河童（角谷池のお話） 「スマダの池はガタロが住んだから行かんとか、引っ張り込まれて生き血を吸い取られる。出てきて相撲を取ろうとゆうたらお辞儀をさせて頭の上の水をこぼさせてから取れ」と子供たちは何度も聞かされたという。

荒神社の天気予報官（南荒神社のお話） 荒神社の背後の山にはフクロウが住んでいた。そのフクロウは「ゴロスケホー・ゴロスケホー」と鳴いていた。その鳴き声が「もどつてのりひけー・もどつて糊挽けー」と鳴くと次の日は晴れ。「もどつてねえこらー・戻って寝えこらー」と鳴くと次の日は雨と言われていた。昔の人はエプロンにも、シーツにも、枕カバーにもピンと糊をつけていた。当時は小麦を臼でひいて、水を加えて煮て糊を作った。次の日が晴れだとみると、夜なべをして糊を作った。そのため、フクロウが明日は晴れだぞ「夜遊びせずに帰って臼をひけ」と鳴くのだと言う。

「ふるさと相生つれづれ草」より